

県内経済は、依然として厳しい状況が続く中、生産活動は回復傾向にあり、雇用情勢にも改善の動きがみられるが、個人消費は弱含み、投資動向は減少するなど、総じて持ち直しに足踏み感がみられる。

1. 平成23年1月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品の販売が振るわず、合計では2ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、補助金終了により各部門とも大幅に落ち込み、5ヵ月連続で前年を下回った。生産活動は、鉱工業生産指数（季節調整済指数）が2ヵ月連続で前年を上回り、大口電力販売量も14ヵ月連続で前年を上回っており、回復傾向にある。投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、請負金額が5ヵ月連続で前年を下回った。建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数は、持家、分譲が前年を上回ったものの、貸家が前年を下回り、合計では2ヵ月連続で前年を下回った。負債金額100万円以上の倒産件数は、3ヵ月ぶりに前年を上回り、負債総額は7ヵ月連続で前年を上回った。雇用情勢は、依然として厳しい状況にあるものの、有効求人倍率、新規求人倍率とも改善の動きがみられる。

〔消費動向・弱含み〕

大型小売店販売額（全店舗ベース）は、主力の飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が振るわず、全店舗ベースで197億4000万円（前年同月比△0.8%）と2ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、エコカー補助金終了により普通車、小型車、軽乗用車とも大幅に落ち込み、合計では5ヵ月連続で前年を下回った。消費者物価指数は、前月比0.3%上昇し、3ヵ月ぶりに前月を上回った。また前年同月比では0.4%下降し、24ヵ月連続で前年を下回った。個別企業の販売動向をみると、家電量販店は、エコポイント制度の変更（ポイント半減等）から、薄型テレビ、冷蔵庫の販売が大幅に減少し、パソコン、携帯電話、BDレコーダーなどは堅調に推移したものの、合計では前年を下回った。ホームセンターは、節約志向が続く中で、家庭用品、日用品等は堅調に推移し、また厳しい寒さから暖房用品や灯油など冬用商品の販売が伸び、合計では前年を上回った。旅行取扱額は、海外個人・団体が好調に推移し、合計では前年を上回った。

〔投資動向・減少〕

1月の公共工事前払保証取扱は、件数が9ヵ月連続で、請負金額、保証金額は5ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。12月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月ぶりに前年を下回り、床面積、工事費予定額は6ヵ月ぶりに前年を下回った。1月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲が前年を上回ったものの貸家が低迷し、合計では2ヵ月連続で前年を下回った。

〔生産活動・回復傾向〕

12月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は、93.0（前月比+4.0%）と2ヵ月連続で前月を上回り、原指数は94.6（前年同月比+3.6%）と13ヵ月連続で前年を上回るなど、回復傾向にある。1月の大口電力販売量は、前年同月比+6.4%と14ヵ月連続で前年を上回ったが、勢いはやや鈍化しつつある。

〔企業倒産・悪化傾向〕

負債金額100万円以上の企業倒産状況は、倒産件数が3ヵ月ぶりに前年を上回り、負債総額は、7ヵ月連続で前年を上回った。

〔金融動向・貸出金鈍化〕

1月末の預金残高は前年同月比+2.5%と47ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は同△0.6%と15ヵ月連続で前年を下回った。

〔雇用動向・改善の動き〕

有効求人倍率（季節調整値）は、0.50倍となり3ヵ月連続で前月を上回った。原数値では0.51倍と前年と同じであった。新規求人倍率（季節調整値）は、0.89倍となり、2ヵ月連続で前月を上回った。原数値では0.76倍となり、12ヵ月連続で前年を上回った。

県内経済動向の概要

	項 目	前 年 同 月 比					
		22年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	23年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	▲ 0.3	0.6	1.0	0.0	▲ 1.3	▲ 0.8
	乗用車新車登録台数	50.2	▲ 1.3	▲ 27.6	▲ 30.6	▲ 24.6	▲ 22.3
	消費者物価指数（総合）	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.4
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	22.2	▲ 30.6	▲ 25.7	▲ 3.9	▲ 6.0	▲ 42.9
	建設着工棟数（民間・非居住用）	43.8	34.6	▲ 1.4	53.2	▲ 10.5	—
	新設住宅着工戸数	▲ 16.9	4.9	▲ 2.6	15.7	▲ 6.9	▲ 7.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	24.7	13.9	5.3	6.0	3.6	—
	大口電力販売量	15.0	6.3	4.0	3.9	4.0	6.4
企業倒産	企業倒産件数注2	100.0	▲ 46.2	80.0	▲ 37.5	▲ 50.0	20.0
	企業倒産金額注2	78.8	43.1	615.2	394.1	191.6	385.7
金融動向	預 金	1.7	2.4	2.1	2.3	2.4	2.5
	貸 出 金	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.6
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.11	0.13	0.15	0.16	0.16	0.15
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.05	0.10	0.18	0.07	0.12	0.16

注1 原指数

注2 負債総額100万円以上

	項 目	前 月 比					
		22年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	23年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	1.9	▲ 10.1	4.9	▲ 0.4	27.0	▲ 13.9
	乗用車新車登録台数	▲ 8.1	5.8	▲ 36.1	4.7	▲ 18.9	22.7
	消費者物価指数（総合）	0.4	0.5	0.6	▲ 0.5	▲ 0.6	0.3
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 34.7	20.8	▲ 23.1	▲ 5.4	▲ 14.8	▲ 58.0
	建設着工棟数（民間・非居住用）	11.0	13.2	▲ 17.0	19.7	▲ 30.0	—
	新設住宅着工戸数	▲ 15.4	16.5	4.5	19.1	▲ 17.6	▲ 15.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	2.1	▲ 5.4	▲ 2.6	1.0	4.0	—
	大口電力販売量	▲ 5.5	▲ 0.8	▲ 0.1	▲ 2.3	0.1	0.9
企業倒産	企業倒産件数注2	▲ 23.1	▲ 30.0	28.6	▲ 44.4	40.0	71.4
	企業倒産金額注2	▲ 78.5	178.2	20.4	61.6	▲ 35.6	82.5
金融動向	預 金	▲ 0.1	▲ 0.4	0.2	0.3	1.3	▲ 0.8
	貸 出 金	▲ 0.3	0.1	0.3	▲ 0.8	0.6	▲ 0.3
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	▲ 0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.03
	新規求人倍率（パート含む）注1	▲ 0.06	0.06	0.04	▲ 0.04	0.05	0.10

注1 季節調整値

注2 負債総額100万円以上

2. 県内経済動向

消費動向

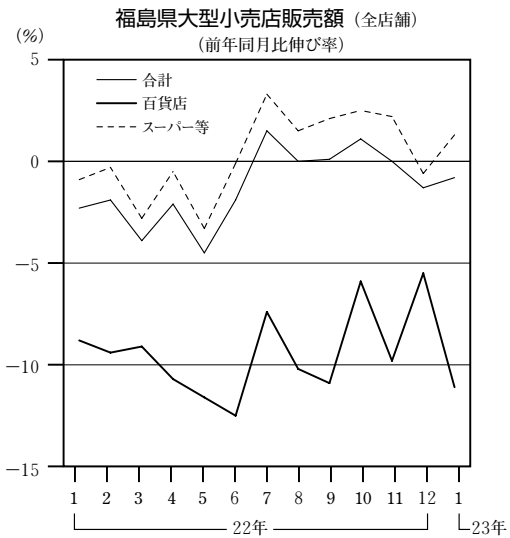
大型小売店 1月の県内大型小売店の販売額は、雇用・所得環境が依然厳しい中、飲食料品、家具・家電・家庭用品等が前年を上回ったものの、衣料品が主力の婦人服を始め振るわず、全店舗ベースで197億4百万円（前年同月比△0.8%）と2ヵ月連続で前年を下回った。既存店ベースでは同0.4%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でともに存在した事業所の数値。）

業態別に内訳をみると百貨店は、衣料品が主力の婦人服など軒並み低調に推移したほか、飲食料品、身の回り品も振るわず、全店舗ベースで29億75百万円（同△11.1%）と、41ヵ月連続で前年を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比1.0%減となり、4ヵ月ぶりに前年を下回った。

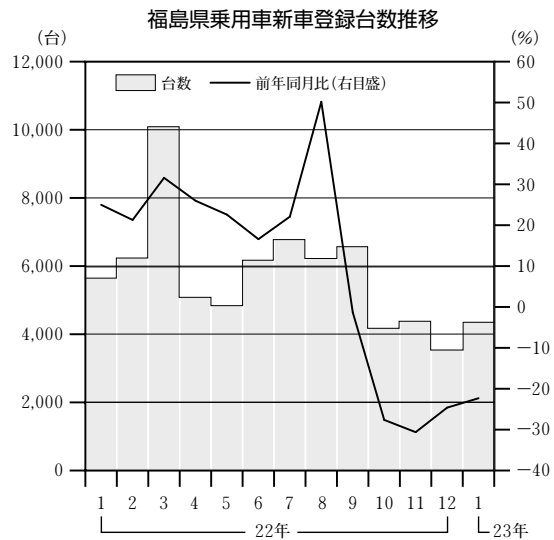
スーパーは、主力の飲食料品の売上が前年を上回ったほか、家具・家電・家庭用品なども伸び、衣料品が振るわなかったものの、全店舗ベースでは167億29百万円（同+1.3%）と2ヵ月ぶりに前年を上回った。また既存店ベースでは同0.7%増と、2ヵ月ぶりに前年を上回った。

乗用車販売 1月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で4,425台（前年同月比△22.3%）と、エコカー補助金終了により各部門とも大幅に減少し、5ヵ月連続の前年割れとなった。車種別で見ると、普通車は1,081台（同△34.9%）と4ヵ月連続で前年を下回った。小型車は1,630台（同△25.1%）と5ヵ月連続で前年を下回った。軽乗用車は1,714台（同△7.8%）と4ヵ月連続で前年を下回った。

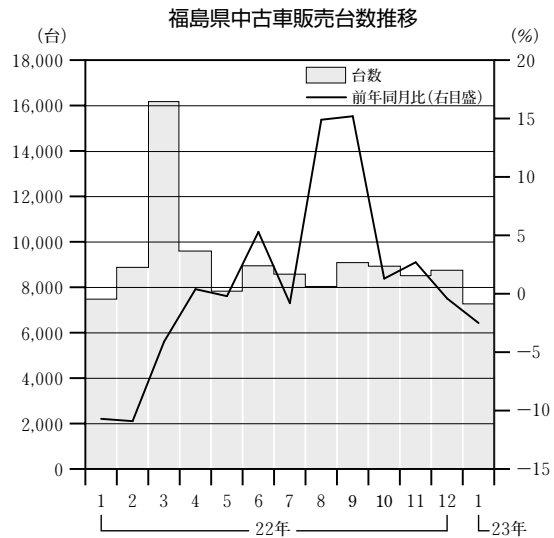
1月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で7,340台（前年同月比△2.5%）と2ヵ月連続で前年を下回った。車種別にみると普通車は1,937台（同△3.5%）と6ヵ



（資料：経済産業省）



（資料：㈱日本自動車販売協会連合会福島県支部）



（注）軽自動車は名義変更台数含む
資料：㈱日本自動車販売協会連合会 福島支部
㈱全国軽自動車販売協会連合会

月ぶりに前年を下回った。小型車は2,715台（同△5.0%）と2ヵ月連続で前年を下回った。軽乗用車は2,688台（同+1.0%）と2ヵ月連続で前年を上回った。

消費者物価指数 1月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成17年=100）でみると、99.5（前月比+0.3%）となり、3ヵ月ぶりに前月を上回った。前年同月比では0.4%下がり、24ヵ月連続で下降した。

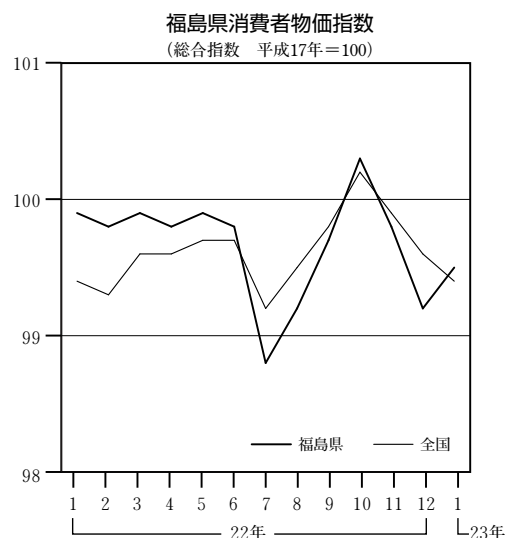
費目別の指数動向をみると、「食料」が104.8（同+2.0）、「交通通信」が98.7（同+0.9%）、「光熱・水道」が107.3（前月比+0.7%）、「諸雑費」が108.3（同+0.4%）、「保健医療」が95.8（同+0.2%）と5費目で前月比上昇した。一方、「被服及び履物」が95.3（同△8.0%）、「家具・家事用品」が90.1（同△0.6%）、「教養娯楽」が93.7（同△0.4%）と3費目で前月比下降した。また、「住居」は96.9、「教育」は82.9となり、前月と同じであった。

家電量販店 1月の売上状況は、エコポイント制度の変更（ポイント半減等）の影響から、薄型テレビ、冷蔵庫が大幅に減少し、パソコン、携帯電話、BDレコーダー、エアコンなどは堅調に推移したものの、合計では前年を下回った。

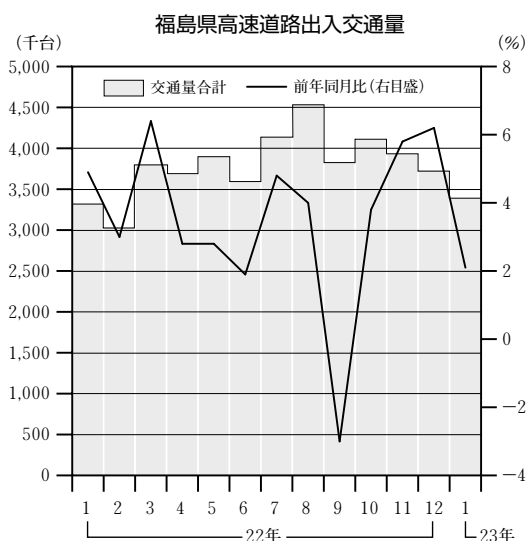
ホームセンター 1月の売上は、節約志向が続く中、家庭用品、日用品等は堅調に推移し、厳しい寒さから暖房用品や灯油、作業用品など冬用商品の販売が伸び、植物、ペット関連などが低調だったものの、合計では前年を上回り推移した。

旅行 1月の旅行取扱額実績は、国内個人・団体が振るわなかったものの、海外個人・団体が好調に推移し、合計では前年を上回った。

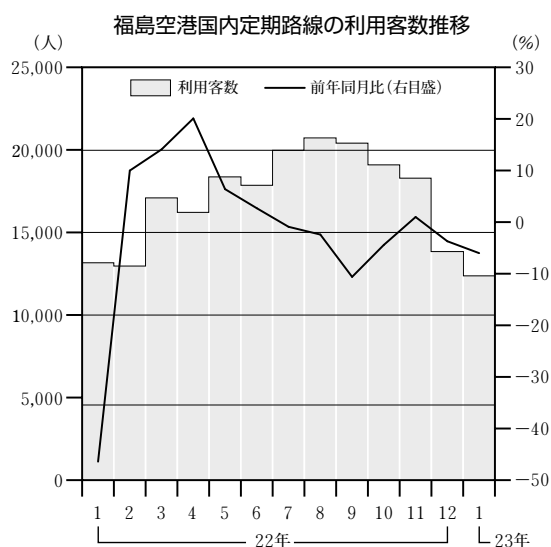
高速道路 1月の県内自動車道出入台数は、「ETC割引制度」の効果などから、3,415,814台（前年同月比+2.1%）と4ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は1,944,535台（同+2.0%）と14ヵ月連続で前年を上回った。磐越自動車道（いわき三和



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)

IC～郡山東IC)は233,334台(同+7.5%)と11ヵ月連続で前年を上回った。磐越自動車道(磐梯熱海IC～西会津IC)は507,004台(同+0.6%)と3ヵ月連続で前年を上回った。常磐自動車道(いわき勿来IC～常磐富岡IC)は730,941台(同+1.7%)と4ヵ月連続で前年を上回った。

福島空港 1月の福島空港国内定期路線の利用状況は、12,489人(前年同月比△6.0%)と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は5,485人(同△4.9%)、大阪便は7,004人(同△6.9%)となった。一方、国際定期路線の利用状況は、3,191人(同△8.5%)と前年を下回った。路線別にみるとソウル便は2,041人(同△14.8%)、上海便は1,150人(同+5.4%)となっている。

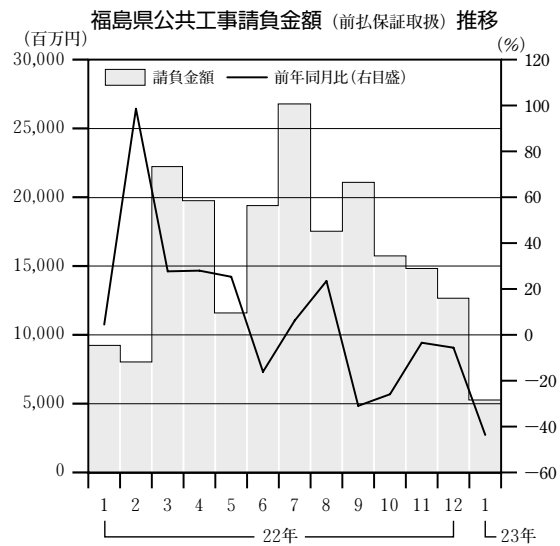
投資動向

公共工事 1月の公共工事前払保証取扱は、件数が315件(前年同月比△33.8%)と9ヵ月連続で前年を下回った。請負金額は53億24百万円(同△42.9%)、保証金額は22億52百万円(同△43.9%)となり、それぞれ5ヵ月連続で前年を下回った。

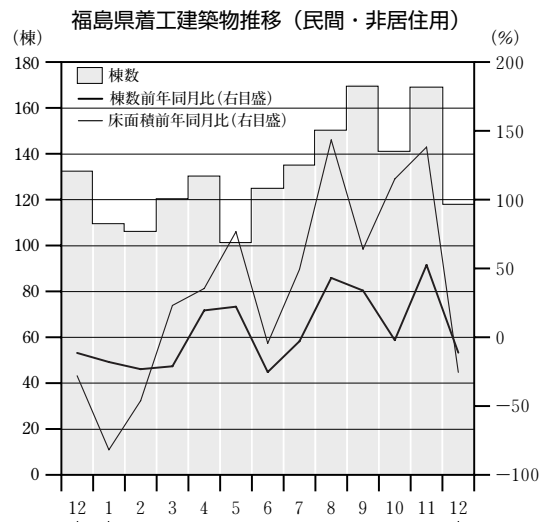
なお、年度累計(平成22年4月～平成23年1月)では、件数が前年同期比817件減少し、5,512件(前年同期比△12.9%)、請負金額が同129億89百万円減少し、1,650億2百万円(同△7.3%)、保証金額が67億91百万円減少し、614億76百万円(同△9.9%)となっている。

1月の主な発注者別の請負金額は、国が前年比3億99百万円減少し、12億93百万円(同△23.6%)となった。独立行政法人等(東日本高速道路株など)は同3億87百万円減少し、3億50百万円(同△52.5%)となった。県は同16億10百万円減少し、18億36百万円(同△46.7%)となった。市町村は同15億69百万円減少し、17億29百万円(同△47.6%)となった。

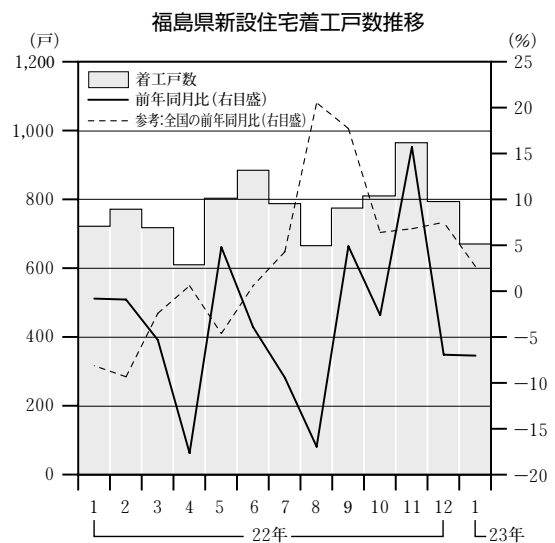
設備投資 12月の建築着工(民間・非居住用)は、



(資料：東日本建設業保証株)



(資料：国土交通省)



(資料：国土交通省)

棟数が119棟（前年同月比△10.5%）と2ヵ月ぶりに前年を下回った。床面積は31,990㎡（同△24.8%）、工事費予定額は47億2百万円（同△12.2%）となり、それぞれ6ヵ月ぶりに前年を下回った。

1月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、464件（前年同月比△8.1%）と3ヵ月ぶりに前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）は116件（同±0.0%）と前年と同じであった。4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）は348件（同△10.5%）と3ヵ月ぶりに前年を下回った。「構造計算適合性判定合格件数」は7件と前月比4件減少し、2ヵ月ぶりに前月を下回った。

建築物着工の先行指標である1月の建築物申請件数は、491件（同△4.7%）と3ヵ月ぶりに前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物は119件（同+1.7%）と7ヵ月連続で前年を上回った。4号建物は372件（同△6.5%）と3ヵ月ぶりに前年を下回った。「構造計算適合性判定申請件数」は10件と、前月と同じであった。

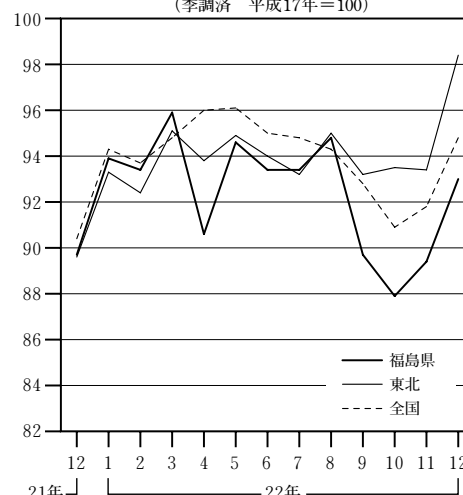
住宅建設 1月の県内新設住宅着工戸数は、676戸（前年同月比△7.0%）と2ヵ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は374戸（同+9.7%）と3ヵ月連続で前年を上回った。「貸家」は254戸（同△26.8%）と2ヵ月連続で前年を下回った。「分譲」は47戸（同+20.5%）と2ヵ月ぶりに前年を上回った。うちマンションの着工戸数は、2ヵ月連続でゼロとなった。

生産活動

鉱工業生産指数 12月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数でみると93.0（前月比+4.0%）となり、2ヵ月連続で前月を上回った。原指数は94.6（前年同月比+3.6%）となり、13ヵ月連続で前年を上回った。

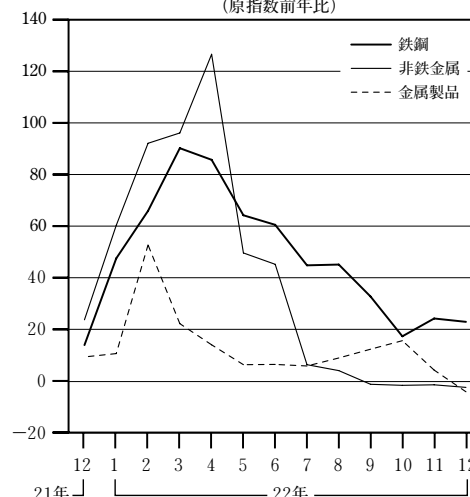
上昇および低下した主な業種別（季節調整済

福島県鉱工業生産指数（全国、東北との比較）
（季調整 平成17年=100）



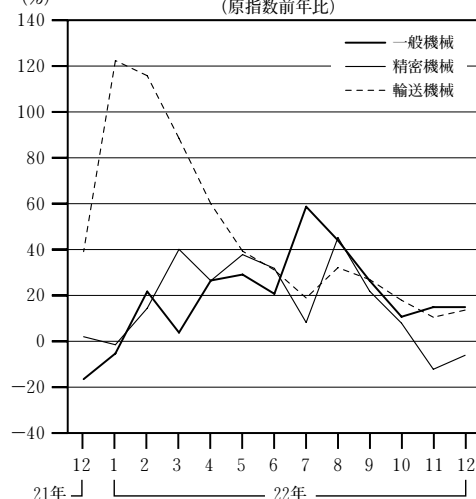
（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

指数)では、印刷業で60.6(前月比+15.0%)、食料品・たばこ工業で65.0(同+14.2%)、電気機械工業で84.3(同+12.6%)など17業種で上昇した。一方、鉱業で69.0(同△6.0%)、金属製品工業で64.6(同△5.0%)と2業種で下降した。

化学 1月の食品包装フィルム用合成樹脂やフッ素樹脂、金属代替プラスチック、炭素繊維の生産は好調を持続、医薬品も堅調な動きが続いている。また、酸化チタン(白色顔料、自動車用塗料向け)やバリウム化合物(電子部品原料)の生産は、好調に推移した。

鉄鋼・金属 1月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材、自動車向け端子材とも前年を下回り推移した。建機用鋳造品の生産は、新興国向けが牽引し、前年を大きく上回り推移した。車両用鋳造品は、JR在来線の更新需要等に支えられ、堅調に推移した。陸船用バルブの生産は、前年を上回ったが船舶部品は、前年並みで推移した。

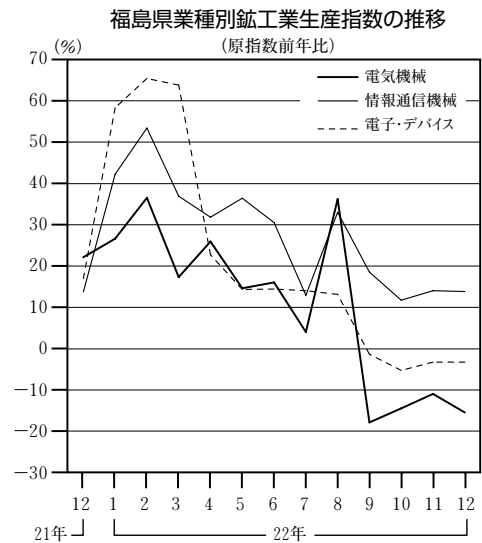
輸送用機械 1月の自動車用鋳造品の生産は、アジア向けが堅調、前年を上回り推移した。自動車用オイルシールの生産は、国内乗用車販売が低迷する中、ほぼ前年並みの水準で推移した。カーナビ・カーオーディオの生産は、国内向けが落ち込んだものの、海外向けがカバーし、合計では前年をやや上回り推移した。

電気機械 1月の配電盤、変圧器の生産は低調に推移し、自動車モーターの生産は前年並みだったものの、全体では前年を下回り推移した。

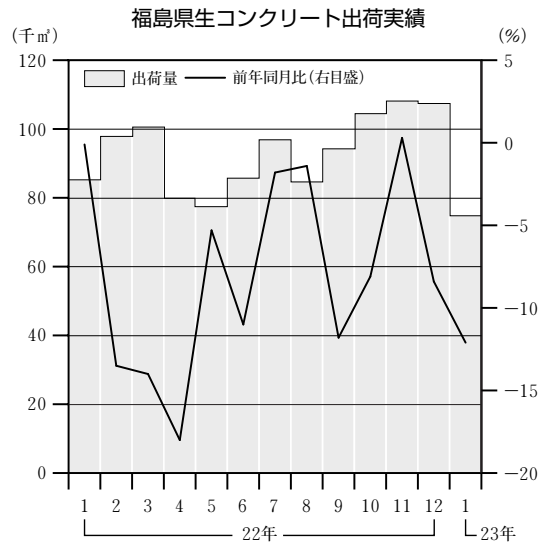
情報通信機械 1月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、主力のインド向けが伸びず、前年並みで推移した。衛星通信機器関連、FA関連機器の生産は、前年並みの水準で推移した。

電子部品・デバイス 1月のLSI(大規模集積回路)の生産は、産業機械が好調に推移、車載品は前年を維持したものの、主力のAV・ゲーム機・家電ならびにパソコン・OA向け製品等が振るわず、全体では前年を下回った。

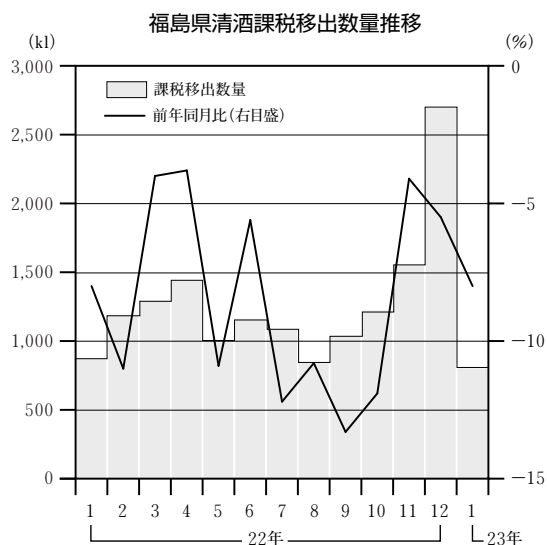
精密機械 1月の医療用内視鏡の生産は、北米



(資料: 福島県企画調整部統計調査課)



(資料: 福島県生コンクリート工業組合)



(資料: 福島県酒造組合)

向けを中心に好調に推移し、前年を上回った。
デジタル一眼レフカメラ用レンズの生産は、欧米
向が持ち直し、前年を上回り推移した。

紙・紙加工品 1月のダンボールの生産は、IT
向け製品が前年並みで推移した。ノーカーボン紙
および感熱紙の生産は、前年を上回り推移した。

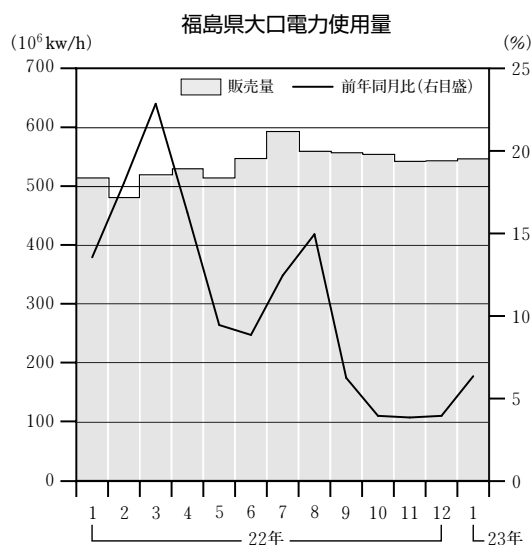
窯業・土石 1月の生コンクリート出荷量は、
全体で75,381m³（前年同月比△12.1%）と2ヵ月
連続で前年を下回った。増加地区についてみると、
官公需では、県中地区で国道改築工事、公立学校
耐震工事等により、民需では、県中地区で輸送
機械系工場の新築工事等、会津地区で病院新築
工事等、いわき地区で火発増設工事、観光施設
増設工事等により増加した。

清酒 1月の清酒移出数量は、816kl（前年同月
比△8.0%）と28ヵ月連続で前年を下回った。
タイプ別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本
醸造酒）が339kl（同△10.0%）と2ヵ月ぶりに
前年を下回った。一般酒（特定名称酒以外の酒）
は、477kl（同△6.5%）と28ヵ月連続で前年を下
回った。

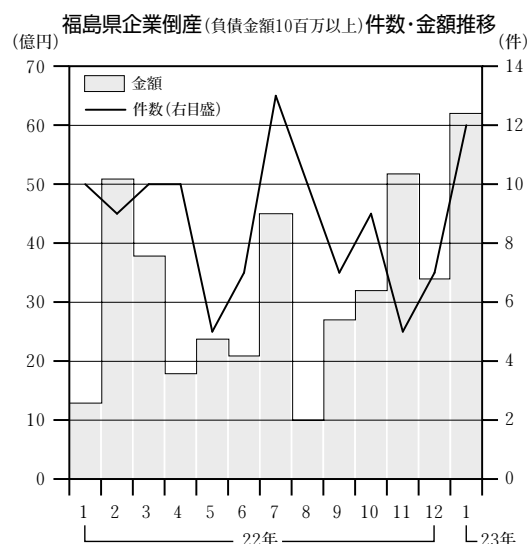
化合繊維物 1月のナイロンの生産はダウンジャ
ケット（表地）向けを中心に、好調に推移した。
ポリエステルは、紳士服、婦人服の裏地
向けなど前年並みの水準で推移した。

ニット 1月のニットの生産は、春物生産が中心
であるが、国内需要の伸び悩みから前年並みの
水準で推移した。

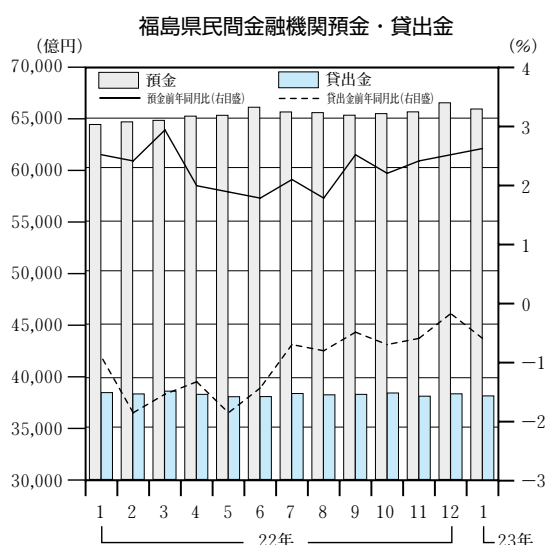
大口電力 1月の大口電力販売量は、549百万kw/h
（前年同月比+6.4%）と14ヵ月連続で前年を上
回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄
金属」で144百万kw/h（同+16.6%）、「電気機
械」で95百万kw/h（前年同月比△3.2%）、「化
学」で59百万kw/h（同+7.2%）、「輸送用機械」
で56百万kw/h（同+9.7%）、「一般機械」で25
百万kw/h（同+5.7%）、「紙・パルプ」で14百
万kw/h（同△11.9%）となっており、非鉄金属
で好調が続いている。



(資料：東北電力福島支店)



(資料：帝国データバンク福島支店)



(資料：日本銀行福島支店)

—— 企業倒産 ——

企業倒産 1月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が12件（前年同月比+20.0%）となり、3ヵ月ぶりに前年を上回った。負債総額は、61億64百万円（同+385.7%）となり、7ヵ月連続で前年を上回った。

倒産主因別内訳は、受注・販売不振が10件、その他が2件であった。業種別内訳は、サービス業が5件、建設業が3件、製造業が2件、小売業および不動産業が各1件となった。また、地区別内訳は、県北（本宮市以北）が5件、県南（郡山市以南）が4件、会津が0件、浜通りが3件となった。

—— 金融動向 ——

資金需要 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の1月末の預金残高は、6兆6,051億円（前年同月比+2.5%）と47ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆8,193億円（同△0.6%）と15ヵ月連続で前年を下回った。

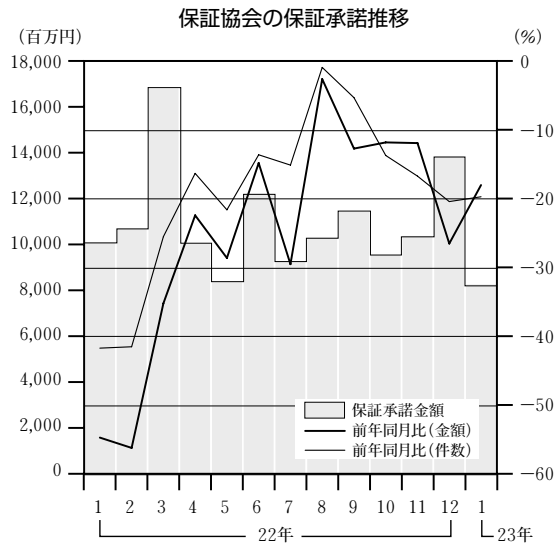
保証協会 1月の保証承諾は、件数が800件（前年同月比△19.6%）、保証金額が83億43百万円（同△17.9%）となった。1月末日現在の保証債務残高は、件数が42,466件（同△3.2%）、金額が3,442億63百万円（同△3.3%）となった。また、1月中の代位弁済は、件数が64件（同△26.4%）、金額が4億95百万円（同△23.0%）となり、それぞれ9ヵ月連続で前年を下回った。

—— 雇用動向 ——

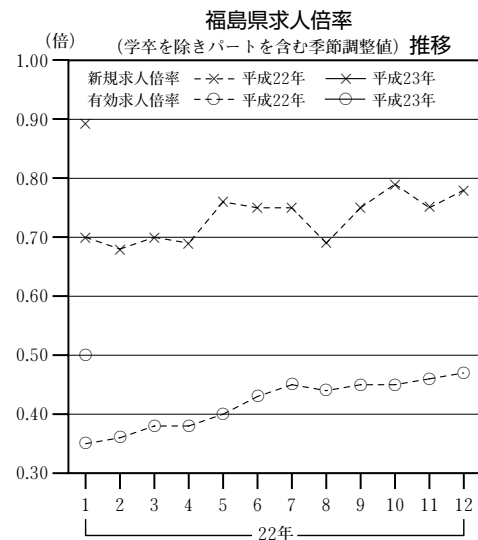
雇用動向 1月の新規求人数（原数値）は、9,066人（前年同月比+18.3%）と11ヵ月連続で前年を上回った。新規求職申込件数（原数値）は、11,961件（同△6.8%）と2ヵ月連続で前年を下

回った。

新規求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.89倍（前月比+0.11[㊦]）と2ヵ月連続で前月を上回った。原数値は0.76倍（前年同月比+0.16[㊦]）と12ヵ月連続で前年を上回った。有効求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.50倍（前月比+0.03[㊦]）となり、3ヵ月連続で前月を上回った。原数値は0.51倍（前年同月比±0.00[㊦]）と前年と同じであった。



（資料：福島県信用保証協会）



（資料：福島労働局職業安定部）